

2021.3

札幌龍谷学園後期 ICT 教育

報告書

情報教育部

**Sapporo
RYUKOKU**

1. はじめに

新型コロナウイルスの影響により、6月上旬までは通常の教育活動を行うことが出来ませんでした。6月中旬以降は、昼食時は前を向いて食べ会話をしない、1つの授業が終わるごとに必ず換気をする、社会的距離を保つなどの感染症対策を徹底してきました。そして、時差登校を経て、徐々に通常の教育活動へと転換していきました。

通常といっても制限はあります。物の貸し借りが出来なかったり、グループに分かれて発表するなどといった密になる活動もできません。スキー学習や修学旅行などの行事も中止となってしまう、生徒たちもモチベーションを保つのに苦労したと思います。

そのような中で、iPadを用いた教育活動は必要不可欠でした。授業での活用はもちろんのこと、生徒の探究学習の発表、外部講師を招いてのオンライン講義、卒業式におけるYouTube配信などもすべてiPadを用いて行われました。

今後、今の状況がいつ収束するかわかりません。来年度からは保護者への連絡はClassi主体で行う予定です。生徒の学びをとめないために、ICT教育の充実を図るのは私たちの責務であると考えています。

情報化やグローバル化といった社会的変化は複雑で予測が困難ではありますが、全ての子どもの将来設計に影響するものです。子どもたち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に学び、考え、多様な他者と協働し、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、より良い社会と幸福な人生の作り手となっていくために必要な力とは何かを塾考し、ICT教育の内容の拡充に努める所存です。

2021年3月

札幌龍谷学園高等学校 情報教育部



2. iPad 活用場面の紹介

① 探究的な授業

2022年度からスタートする新学習指導要領では学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等）を身につけることが重視されます。つまり「何を覚えているか」から「何を覚えてできるようになるか」が問われます。そのため、全ての科目で知識の習得・活用・探究型の授業改善が求められていて、2022年度からの新設科目でも、それを象徴する「古典探究」や「日本史探究」などが設けられています。

本校では1年時より思考力や課題発見・解決力など、これからの社会で求められる力を育むための学習活動として、探究活動の導入を行なっています。探究活動は生徒の自発的な疑問から始まり、生徒たちが生活の中で「なに」「なぜ」「どうやって」など疑問を持つことが始まりです。「探究」では、生徒たちは自ら課題を設定してリサーチを進め、自分の興味・関心が中心になるので、誰かに与えられたことをただ消化するような勉強にはなりません。テーマを掘り下げていく中で、たとえば、歴史的事実の確認や海外の類似事例の調査など、自ら進んで学びの領域を広げ、深めていくことになります。時間がかかってしまう生徒さんもありますが自分の「やりたいこと」が中心になるので勉強が苦になっている様子はありません。



探究発表会の様子



②授業での活用

コロナ関係による欠席者に対しては Zoom で授業に参加してもらうなど、全教員が生徒の学びをとめない取り組みをしていました。



日々の授業の様子



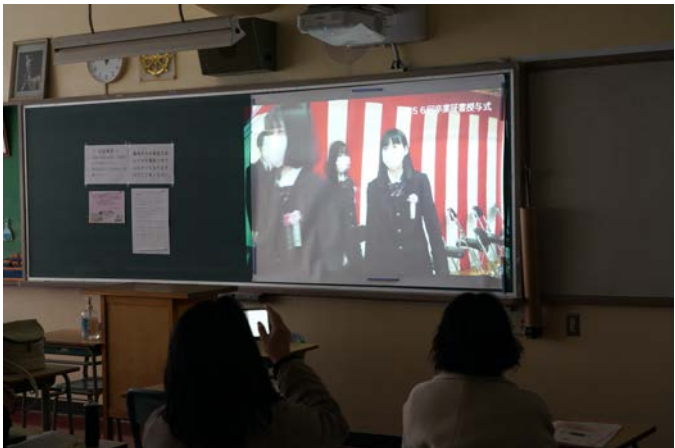
学習の振り返り

③卒業式での活用

コロナ禍で保護者に参加してもらうことができず、いつも通りの卒業式は実施できませんでしたが、各家庭1名まで別室でのライブ配信という形態で敢行。カメラワークなどを工夫しお子様の勇姿をご覧いただきました。



体育館で行われている卒業式の様子を教員が撮影



保護者はその様子を、教室で限定公開によりオンライン配信での視聴

3. ICT教育の3年間

本校では、生徒が一人一台のiPadを持つようになって3年間が経ちました。初めはレビュータイムの時間にClassiにログインできなかつたり、授業中にロイロノートの使い方がわからない先生が問い合わせに来たり、いろいろな問題も起こりました。この3年間で生徒も教員も試行錯誤を重ねながら授業での活用の方法を少しずつ探してきました。もちろん、iPadがなくても学ぶことはできます。iPadがなくても教えることはできます。しかしながら、iPadがあることできるともまた多いのです。生徒たちはロイロノートやKeynoteを利用して自分の意見を表現する機会を多く持つようになり、表現力も大きく向上しました。iPadを利用して教科の復習や探究学習の振り返りを整理して効率的におこなえるようにもなりました。そして、授業で学ぶ知識とインターネットの知識を比較・選択し、両者を有機的につなげるような取り組みも少しずつですがおこなわれてきています。このコロナ期にあってオンライン教育の有用性が大きく取り上げられていますが、ICT教育の本旨は教室での活用にあると思います。札幌龍谷学園は、これまでの3年間の実践を一区切りに、新たなる教育の機会の創造のために今後も研鑽を続けていきます。

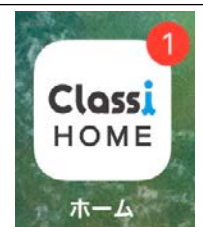
4. 保護者の方に利用していただきたい龍谷のICTコンテンツ

【Classi】 Classiにて本校の活動についての情報を保護者の方に発信しております。専用のアプリがありますので、ダウンロードしてお使いください。ログインIDとパスワードについては、以前にご案内しております。お持ちのスマートフォンだけではなく、パソコンからもログインできますので是非ご覧ください。(https://auth.classi.jp)



iOSの場合「[App Store](#)」、Androidの場合「[Google Play](#)」からダウンロードが可能です。

※各ストアにて「Classi ホーム」と検索すると表示されます。



【日々龍谷】生徒の日頃の様子を伝えるブログです。本校HPから見るすることができます。



【メディアセンターHP】学校図書館のHPです。様々な情報検索が可能です。



本物の情報を探しに行こう！



iPadについて、なにかご不明点がある場合は、入学時にお配りした「iPad利用の手引き」をご覧ください。解決ができない場合は下記までご連絡ください。

生徒の Creativity を引き出すために

札幌龍谷学園高等学校 情報教育部 TEL:011-631-4386

担当：吉本、相蘇、平岩、増田、米田

E-mail : jyouthou@sapporo-ryukoku.ac.jp